

舊記

享保五

拾八

菊
180
17

手
ノ
ノ

富山大学
菊池文書

579

享保五庚子年

享保五庚子年
大和屋
大和屋

一 字係子庚子年

一 正月十日及歲之市同海官

一 官是木河不代名年信之師十村淺白名卯舟之信名木

一 二月十日及歲之市同海官

一 借舟之氣向後信之平舟十村與去之白子壽之教及之評

一 書名也之北信之市後亦借更之氣之信後

一 市之北信又十年之振分改之自地言示升札在名示

一 御座付格十村屋敷入新歩不成成与

一 御座書

一 米穀兼茶種沙汰他處也十美州与三毛不成成与

一 御座車引松原本有鳥友少之御座成与

一 川谷兼徳運上御座成与才之御座成

一 御座車引出村又之御座成御座成御座成

一 一定不可御座成御座成

一 御座國三行代法書不成成与

一 一六七十四五御座成御座成御座成

一 一定格地御座成御座成御座成御座成

一 一定御座成御座成御座成御座成

一 一米御座成御座成御座成御座成

一 一御座成御座成御座成御座成

一 一御座成御座成御座成御座成

一 米拂底 舟中場 山火

一 猿谷名 山火 舟中場 山火

一 源家申 奉平云 人 舟中場 山火

一 永京 法右 舟中場 山火

一 中村 氏平 舟中場 山火

一 河合 右平 舟中場 山火

一 吉井 氏平 舟中場 山火

一 上里 田村 舟中場 山火

一 今江 村源 舟中場 山火

一 世生 村 舟中場 山火

一 生智 舟中場 山火

一 江戶 舟中場 山火

一 江川 舟中場 山火

一 江川 舟中場 山火

一金沢奉公人之我作御用者云云後ホ

一取心者持高由止上之我取心外持ホ云云下云何

一御家中一書人云云身代白

一松姫君様御遊去少色急得

一浅水場ホ云云得

一幸度ホ云云加云云札云云云云云云云云

一山本物云云云云云云云云云云云云

一籠子云鳥追捕物云御守布物ホ

一錢相場云云云云云云用云云料云云云云云云

一御用云御裏云云云云云云云云

一此田地为振百姓中一山登坂之百貫月取云云云云

一苗物能湯谷村山坂云云云云云云

一金沢通用割増云云云云云云云云云云

一此銀通上納銀云云云云云云云云云云

高後年之書

一 接地折後知後行高後

一 川原才の折日用泥以下極速後

一 去年分高折折引書之

一 小物成泥も割増之及身有通

一 川下年中と結實泥之及身是之書

一 用水才人是日用泥増月伺

一 金登本江能連通村江之書

一 丈銀割増一後十割増之極亦之及身即場

一 京保去年即定之該部通馬負救亦極極之文

一 確波部河並之折之家救亦極書之

一 折貸承折書之系能之割折書之系該部折之折書之

一 十月八日後及高折人こ亦之書

一 中田川後亦亦換之折折折

一 新沼新書

一 米拂 盛年 通書

一 荻谷用水 大彼 月夜 金剛寺村 百姓 抄山 竹林 三松 抄新書

一 米拂 盛年 通書

一 岩波 抄新書 孫波 之後 而貸 年高 櫻木 河原 仁全 痛

孫抄 年高 抄新書 通書

一 上 藤里村 熱河 抄新書 藤里 加人 抄新書

一 百姓 抄新書 抄新書

一 小室 抄新書 抄新書 抄新書 抄新書

一 御 抄新書 抄新書 抄新書

一 御 抄新書 抄新書 抄新書 抄新書

抄新書 抄新書

一 抄新書 抄新書

[Faint, illegible handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

白浪二枚
紳二端

大西村三之村

白浪二枚宛

高崎村三之村

三田村三之村

大瀧村三之村

佐田村三之村

中田村三之村

金屋村三之村

田中村三之村

天吉村三之村

一七五 二七五

白紙 二枚尾

但山村古帛
巾梨村古帛

同上

右白紙古帛一枚紙一枚古帛一枚古帛一枚古帛一枚

古帛一枚古帛一枚

一 和書古帛一枚古帛一枚古帛一枚古帛一枚古帛一枚
高貴といふは日本古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
何方、何れといふは古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛

和書古帛一枚古帛一枚古帛一枚古帛一枚古帛一枚
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛
古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛

古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛古帛

古帛古帛

古帛古帛

古帛古帛

中水行

仁島 巨島
七島 七島
七島 七島
又島 又島
三島

右島持世書付中身真書在上

今島東河野集
三島

右書付中身真書在上
平利村各々の庄屋村外
女留屋別有中橋白石

三島

島

一 島の抄取 新庄

一 島の左 新庄小判

右島中身真書付中身真書在上

京保五年四月

能島殿居村
新庄

河内郡田井村
河内郡

河内郡
河内郡

河内郡
河内郡

廣時款中時村

鳳皇款大時村

瑞剛款廣時村

村時款大時村

源時款中時村

許川款天時村

一 利丹以帛皮

右系在軍馬皮

一

一 抄摺摺

細

右系在細活衣中而如件

右系係在軍馬皮

一

一

廣時款中時村

源時款中時村

許川款天時村

村時款大時村

源時款中時村

許川款天時村

風多額大下村
權全傳

砥波額大西村
力全傳

射水額中東村
海全傳

新川額下白馬村
十全傳

以市橋下河原之借年之文字所傳之物是向信傳之書

其其似于村書書之而之散漫大村之書書之書書之

為抄本借之書書之河原之且又再通之村之右書書之物

在通下村之河原之右之額之借年信村之河原之

山月書

千田村
子全傳

田中村
子全傳

皇城中村
子全傳

中田原之村
恒全傳
大源村之村

南河村之村
大西村之村
三河村之村

皇城中村之村
田中村之村
千田村之村

右之字是其所借年之文字所傳之物是向信傳之書

書書之書書之

作於方在之河原之借年之文字所傳之物是向信傳之書

其山陰下右在對意打字之內分年終字以七也而
 歌字之之之終無者之之即其年終字之之也
 向陰之終字年分字江右也持字之內改他種成之切之
 丁之即其年終字年終字一續江陰向志之即解其也
 今之海下海無位之在福古年以終之之切字江右也
 之字即其年終字年終字年終字年終字年終字年終字
 六年以前之分年終字在權向之知之之身即其年終
 持字之之在權向之知之之身即其年終字年終字日又

切字法之之在權向之知之之身即其年終字年終字日又
 等字之之在權向之知之之身即其年終字年終字日又

古原古年四月廿日

江改他
 即其年

若松村 常吉清
 田井村 明命古
 村井村 与之也
 明之村 若吉清
 市之村 源之清
 若吉清
 三階村 原古島

中込村 五
 大原村 権左衛門
 藤野村 恒方
 田中村 善吉
 千代村 又吉
 津崎村 定次
 大石村 三吉
 草里村 江吉
 天正寺村 十右衛門

津島村 田中村 藤野村 田中村 千代村 津崎村 大石村 草里村 天正寺村
 右左衛門 入道 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門
 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門 十右衛門

寛保六年三月

関谷依吉
 林源吉

一 一帯の岳の東にありて西方の方角にありて不拓者親類なる
其及川と云ふ姓勝を其貞吉と云ふ付合應持と云ふ里に實
政他多のうりて中者十村兼世持持人少座下少毎年上座
得る所も年々引込中と云ふ系に中座照合古事と云ふに引込十村
下村不慮也又

一 不慮百姓習物は悪やらの同名法と云ふは耕作と云ふ河法といじ
る事其長と云ふの者なりて下村西車也又

一 一帯の東の方角にありて海に近村好美對山古姓は兼用と云ふ年切といはせ
海濱又と云ふ引込十村方と云ふ並の位に入る格といはせ

右の通り下村と云ふと味味中世諸書附二月九日の引込と云
出と云ふ

中村包を指

坂 孫右衛門

今村原也又

高島村也又

菊田通角

大塚通角也

河原大平次也

山中部也也

並穀米油常種也外地並地味也安多等所也也物味也也也

西海... 日... 海... 近... 州... 前... 精神...
三月廿六日
加茂 九郎吉市
相原 中吉市

相原 中吉市

右... 加茂 九郎吉市

二月廿六日

加茂 九郎吉市

相原 中吉市

帶

一... 一... 一... 一... 一...

增別増之各其種之各其種

一 五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種

一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種

別増站之各其種之各其種

上

二月

一 此五洲地多站之各其種之各其種

一 此五洲地多站之各其種之各其種

一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種
 一 此五洲地多站之各其種之各其種一統控別増之各其種之各其種

平田町 五ヶ所 豊後町 原長 久保町 五ヶ所
加多町 五ヶ所 豊後町 五ヶ所 五ヶ所 五ヶ所

豊後

豊後四年四月廿四日

一 此の庄に在る中ノ庄に少

小寺新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に九ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に九ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

新庄

右横濱の庄に在る中ノ庄に六ヶ

一 此の庄に在る中ノ庄に六ヶ

豊後四年四月廿四日

新庄

豊後四年四月廿四日

右之竹葉燈之清云百燈中之五燈也

田中村
菅原氏
千利
那古里

号

一、抄書目

高保四年是月記

日
七書之首之抄書目也

能書部

抄書目之抄書目也

石川部

抄書目之抄書目也

河内部

抄書目之抄書目也

福波部

抄書目之抄書目也

村了部

抄書目之抄書目也

新川部

抄書目之抄書目也

那以部

抄書目之抄書目也

廣部

抄書目之抄書目也

風部

抄書目之抄書目也

珠部

ノ

右之通是乃則此部之別部也

其之右在也乃則此部之別部也

抄書目之右在也乃則此部之別部也

若くはきけい又若くは御身七十五に井派何費月
 申けい此紀句端と年二月十七日五に井派の御持
 の持費月と是月端とに般て井派教書より上り下り

田中村

法皇御前
 御持

田中村

御持
 御持

御持

御持

若くはきけい又若くは御身七十五に井派何費月
 申けい此紀句端と年二月十七日五に井派の御持

若くはきけい又若くは御身七十五に井派何費月
 申けい此紀句端と年二月十七日五に井派の御持

若くはきけい又若くは御身七十五に井派何費月
 申けい此紀句端と年二月十七日五に井派の御持

此通在指上... 乃上... 是...

可の...

法... 乃...

伊...

中... 九...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

此... 乃... 是...

有年七月之無不豐稔... 後世... 亦... 為... 中... 亦... 亦...

三月十日

水... 井...

井... 牧... 水... 筒...

永東在京都

伊原の腰柳

奥村原の腰柳

昔... 奥村原... 伊原... 奥村原... 昔... 奥村原... 伊原... 奥村原...

口はも精練と通在る河を以て是と云ふ物也然して其は
是を以て成物と云ふは出づるに於て其は其の如く其は
世物十村也心と云ふ物也其は其の如く其は其の如く

より日記

平兼利傳

加藤其角宛

此の書は其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

是の如く其の如く

加藤其角宛

平兼利傳

此の書は其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く
其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

而種と為高貴人等買請ひ是とて早急の事成す中其月
治順年より下たれと云ふ事あり其旨を買請ひ並其
廻り中御ふりし事と云ふ様と指置物等と云ふ事と云ふ事と云ふ事
昨今迄に存存考へし事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
其旨買請ひ並其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
而は事ありふ入押買ては事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

お書とす十村一徳切に中願承し内何方も成其事ありし事
相御接する事候と云ふ旨御事成り候上り候事候と云ふ事
中何由云と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
皆書付文ありし事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
お通ひ候

乙日木

御書付

加藤

進言の事候し向ふ事高貴人等買請ひ並其旨と云ふ事と云ふ事
其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事
其旨と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事と云ふ事

射水郡右口河

津留村 家師

口入丸 家魚

大田丸村 家魚

五里村 家師

右邊境河也為截河以結平瀨千前封切月平力

平瀨千前境河也為截河以結平瀨千前封切月平力

三月

平瀨同境

千前村 家魚

田中村 家魚

津留村 家魚

大田丸村 家魚

五里村 家魚

口入丸 家魚

昔言此河為瀨捕是去月平乃平瀨千前而平瀨

千前平瀨千前捕是去月平乃平瀨千前而平瀨

別河也捕是去月平乃平瀨千前而平瀨

瀨捕是去月平乃平瀨千前而平瀨

之便取歌を五酒片首場中送公孫のつゝを五酒
けと無と持下るる年とよいつり可と無成を東方と無高
買酒は切の中より余を心の意了不海に今石動傳傳
も並酒は手抄つゝといふ川法年と好も不及倉首首
十音と手抄の未見を意の兼年可那方一年といふ酒法
は乃水は方と手抄の牙和をも例年と通書とれは傳
中石動傳傳の長松といふも其の身下法不例も一系
其と十村書抄中法書より以酒略由抄といふ酒法に
限は別葉法をさるり可通とい酒指置下酒の上

古月書

中華用場

一在東也... 加倉九島古島... 越十村書抄中法書より古越とい魚又可方々抄中葉法
一在... 法書より古越とい魚又可方々抄中葉法

此言旅法者... 道名... 法書... 有之

疑為族之老葉者歟其連年之修者何人
心身耳耳捕出此處為修下海

一村之連作也其紅黃並高實之紅家業五之清職人
家業在拾上至重者有之為修之乃承之可修之者也

一在口之村也

一村之修者也其年々之可連作還高上連出下之修者
修者之可修之也

一在燒者泥洞江名而之取知者之其可修也如家業之修
方之修少修不為之紅家之連也而其可修之取者之其也

一在別和之修也其可修之其也

七日

加修之其也

一在別和之修也其可修之其也

是

一在口之村也

男之其也

其也

一在口之村也

女之其也

其也

一在口之村也

其也

一在口之村也

其也

右言修之年二月之修也其可修之其也

... ..
... ..
... ..
... ..

... ..

... ..

... ..

加別

十村中

... ..
... ..
... ..
... ..

... ..
... ..
... ..

... ..

... ..
... ..
... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

... ..

右者何年月日中村河島橋に在りて書す

左河島何橋の日

何人

河島橋に在りて

何人

河島中

何人

河島方

何人

河島方

右河島

右年數の内

右河島の内河島方は右河島に在りて

何人

小松島に在りて河島に在りて

何人

右河島に在りて河島に在りて

何人

右河島に在りて河島に在りて

右河島三年流別ありて右河島に在りて

右河島に在りて河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて

右河島に在りて

右様向之遊才也其遊才申付未遊向之内も亦も福指之り
當と成之遊才向之申付加別之遊才申付申付申付
船之遊才申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付

七日末也

信右士申付 又申付

申付申付

申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付

七日末也

申付申付 原也

考也

申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付
申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付申付

七日末也

加原申付申付

信右申付申付申付

及此村の西に在り

永原庄に在り

不詳なる所あり

是地北に在り

中村に在り

不詳なる所あり

武原庄に在り

不詳なる所あり

田代庄に在り

不詳なる所あり

石井庄に在り

不詳なる所あり

右の通りは、此の地方に在り、其の地は、此の村の西に在り、

河原庄に在り

不詳なる所あり

石井庄に在り

不詳なる所あり

此の通りは、此の地方に在り、其の地は、此の村の西に在り、

不詳なる所あり

石井庄に在り

不詳なる所あり

石井庄に在り

不詳なる所あり

第廿

河左在平次

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

第廿

第

第廿

右邊下上

第廿

第廿

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

右邊下上樓角寺觀之通之伴也

第廿

第廿

第廿

第廿

第廿

上邊下上樓角寺觀之通之伴也

佐野村 西津村 西津新村 檀岡村 崎村 園尾村 至屋敷村
涌之野 崎村 中津村 新津村 正河内 泉村

右村 二保村 湊舟村 内江 中津村 般下 崎村 上向 佐野村

中津村 般下 大平 西津新村 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

西津新津

西津新津

中津村

西津新津

西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

一 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津 西津新津

坂角吉河、渡石、外田井、伊多吉、村井村、与吉河、野上村

吉河、若杉村、第壹千村、又吉河、野上村、与吉河、野上村、与吉河

野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村

一、村跡、月没

加納村、野上村

一、右、河

坂田村、野上村

右、河、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村

野上村

野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村

野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村

野上村

野上村

野上村

野上村

野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村

野上村

野上村

野上村

野上村

野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村、野上村

中島村 鹿島村 河内村 加太村

三原村

号

外に村を石村に引了

一 二万九千六百三拾七石

高崎組

外に村を石上村に引了

一 二万九千六百三拾七石

大滝組

一 二万九千六百三拾七石

大西組

一 二万九千六百三拾七石

四時組

外に村を善後村を引了

一 二万九千六百三拾七石

三原組

一 二万九千六百三拾七石

皇成組

一 二万九千六百三拾七石

植生組

外に村を石上村に引了

一 二万九千六百三拾七石

中田組

一 二万九千六百三拾七石

大石組

外に村を石上村に引了

一 二万九千六百三拾七石

加納組

一 二万九千六百三拾七石

佛生組

外に村を石上村に引了

一 二万九千六百三拾七石

中島組

外に書名新羅各村の
一 四方字 土音 新羅 七名

外に書名新羅各村の
一 四方字 土音 新羅 七名

水野組

五丁組

一 四方字 土音 新羅 七名

中条組

ノ 二七二七二七

右に書名新羅各村の
一 四方字 土音 新羅 七名

一 四方字 土音 新羅 七名

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

一 丹頂

長崎の島の下の中

二月廿日

後百三十四行

中

甲三行

中

在川流本路入在年八川流村之有三人在是三年六之靴

代々々古新黄而右人好之内柳流村綿之六人宜履之五路

舟指正中矣年々之流中田村原出也舟早之而若律下

方々之般之指由之書舟指河西之生之在速之流之若神向

之通下流皆之流之指流書舟之在速之入之在

流之入又書右在流之流本路入也舟在律之有自今之流

之入意右新流也之流之入

九月廿日

石京昔昔馬

湯本島上島

中

三行

中

昔

日中

戸

戸

予自入蜀以來所見之民其苦甚矣
予自入蜀以來所見之民其苦甚矣

九月三日

加蓋九節古節
宋 蘇軾

蜀道難於上青天

予自入蜀以來所見之民其苦甚矣
予自入蜀以來所見之民其苦甚矣
予自入蜀以來所見之民其苦甚矣
予自入蜀以來所見之民其苦甚矣
予自入蜀以來所見之民其苦甚矣

京師五年九月十日

二西村
與

丙午札

神向之民其苦甚矣

回井村
與

但中古今在之難言者

南東村
與

予自入蜀以來所見之民其苦甚矣

大井村
與

予自入蜀以來所見之民其苦甚矣

大井村
與

予自入蜀以來所見之民其苦甚矣

大井村
與

予自入蜀以來所見之民其苦甚矣

大井村
與

京師五年九月十日 丙午札

天向村
與

若事之平件、上御在門口、中御在右、下御在左、

一、仲之入、おきき、お乃よ

一、名事也、事之、内御方、今、少、五、由、山、四、之、是、心、後、之、心、出、
一、の、物、に、上、七、陽、三、七、五、中、中、者、者、之、心、之、為、乃、下、御、
一、海、台、重、細、之、御、海、台、

一、右、之、通、信、御、儀、之、御、海、台、御、儀、之、心、乃、下、御、中、

三
九月

陸奥恒集
中御
御儀

田中平右衛門 南條中口 大滝 中田

三
清 大田 恒生

相取、若、松、
一、乃、通、云、之、控、以、身、善、信、心、拘、而、去、通、意、之、心、
一、若、乃、下、御、儀、御、儀、之、御、海、台、御、儀、之、心、乃、下、御、中、
一、若、意、之、心、乃、下、御、中、乃、下、御、中、

十月

加藤 九郎 吉平
御儀

御儀、乃、下、御、中、

一、乃、通、信、御、儀、之、御、海、台、御、儀、之、心、乃、下、御、中、

附之
予曾遊之
一
若

予子什也

加藤北命

在 新 京

石門村

以自昔諸方...

予子什也... 予子什也

予子什也

加藤北命... 新 京

石門村

予子什也... 予子什也

蕭如... 松... 年... 總... 中... 年... 齊...
 味... 松... 在... 年... 年... 年... 年... 年...
 名... 通... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 內... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 而... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 乙... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...

十月五日

御書用場

所... 所... 所... 所...
 十... 十... 十... 十...

右... 中... 年... 年... 年... 年... 年... 年...

張... 年... 年... 年...
 伊... 年... 年... 年...

差... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 田... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 乃... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...

瑞... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...
 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年... 年...

五張上紙若抄初所書用場進之指至要細之由智若
之通右藤波部之因之進補存下海之由

庚子
三月廿六日

玉井勘解由
清田玄吉
乃校民部
中階内藤由

加藤共兵衛
永高侍書長

藤波部雜子山之由書言未出進之由乃進補之由
之性天潤色之由或因互之由女之由是為方十村書古歌

若書身之由被成下家老之由之由建之由之由之由之由
案了之由之由之由且又下家老之由之由之由之由抄初指部

了之由
三月廿六日

加藤共兵衛
永高侍書長
中兼用場

右藤波部山之雜子山之進補初乃江後之由右藤波部之
之通之由之由進補之由下海之由中家老之由之由之由
抄初指部之由之由之由之由之由之由之由之由之由之由

今中地地捕下流以書狀是應七判取子之旨也
為局下三在通之全

去日五言

加藤九郎左衛門
永原清正

田中 南陽 中江 大隈

中田 三清 大西 午市

法也跡取橋之重之右左難分以遠而用中河書其意
要取之取中河之重之右左難分以遠而用中河書其意
弟實上物也取中河之重之右左難分以遠而用中河書其意

三日月

三日月

加藤九郎左衛門

加藤九郎左衛門
永原清正

今中地地捕下流以書狀是應七判取子之旨也
為局下三在通之全

加藤九郎左衛門
永原清正

山田中

山田中

作表草書

一筆海嶺台町の物以て西に其地は海に堅固なる
地なり其地は相二河川に交りて其地は西に自
りて其地は相二河川に交りて其地は西に自
りて其地は相二河川に交りて其地は西に自

二日

山崎草書

千町
又千町

あるて其地は相二河川に交りて其地は西に自

作表草書

一筆海嶺台町の物以て西に其地は海に堅固なる

一筆海嶺台町の物以て西に其地は海に堅固なる

加刺上下台と相二河川に交りて其地は西に自

山崎草書

右筆海嶺台町の物以て西に其地は海に堅固なる

右筆海嶺台町の物以て西に其地は海に堅固なる

右筆海嶺台町の物以て西に其地は海に堅固なる

二日

山崎

一筆海嶺台町

右筆

一 三尺五寸

たけのうちとせんじ

一 一尺一寸

よりとせんあとのと

一 一尺二寸

馬装の目

石作装束を度束のたのこに由來の松竹

たけのうちとせん

二 一尺七寸

山崎若菜

千代村
又とせん

石作のたけのうちとせん

一 一尺五寸 石作のたけのうちとせん

一 一尺三寸 石作のたけのうちとせん

一 一尺一寸

一 一尺 石作のたけのうちとせん

一 一尺五寸 石作のたけのうちとせん

一 一尺七寸 石作のたけのうちとせん

一 一尺九寸 石作のたけのうちとせん

一 二尺 石作のたけのうちとせん

一 二尺二寸 石作のたけのうちとせん

一 表紙より御筆のふ及び御筆の由年はよきと云はれ
一 瑞雲成りては世に表目にも御筆のふと云はれ
一 手の中へ取つては御筆のふと云はれ
一 仕のふをむくはむくは御筆のふと云はれ
一 一冊表よりと云はれ御筆のふと云はれ
一 ちりちり御筆のふと云はれ御筆のふ
一 右のふを御筆のふと云はれ御筆のふ
一 一冊と云はれ御筆のふと云はれ御筆のふ
一 白紙のふを御筆のふと云はれ御筆のふ

土月書

和山打
七島御松

五島
三島
伊予
比呂

一 一冊表より御筆のふ及び御筆の由年はよきと云はれ
一 又表のふに御筆のふと云はれ御筆のふ
一 右のふを御筆のふと云はれ御筆のふ
一 御筆のふのふと云はれ御筆のふ
一 三冊表より御筆のふと云はれ御筆のふ
一 一冊と云はれ御筆のふ

夢

一沙撈越

新丁站

石 師養代法燈 法衣 在滿 中 高 如 此 伴

喜澤町 寺 青 白 寺

寺 山 大 山 門 行 寺 山 門 下

和山村 寺 山 門 下

千 和 村 寺 山 門 下

石 為 作 月 師 養 代 法 燈 指 寺 山 門 下

山 崎 寺 山 門 下

和山村 寺 山 門 下

千 和 村 寺 山 門 下

右 之 通 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

山 崎 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下 寺 山 門 下

此書乃後天爲之入事也

一四卷之 作後 而表由本行 手授誠清言 亦述古

中之一條 而意應了之在 而表代法清言之

大原村字之知
元山村之古馬 山行在角河 其書之物 手授誠清 代法

其書之 手授誠清 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

其書之 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

其書之 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

二月十九日

昭田又公判

山崎善吉史記

吾山新善書

一

一抄抄玉

新丁記

右者善抄玉 而表代玉 亦由本行 亦由本行 亦由本行

其書之 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

其書之 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

享保六年正月

元山村 善吉

山崎善吉史記

右者善抄玉 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

其書之 亦由本行 亦由本行 亦由本行 亦由本行

第人

一山抄正白

新法

右 而兼代山崎若古里修中修且修身且修法且修

辛子

四月十九日

祖山村

新八市

千山村

又千馬皮

第人

一山黄正白

新丁法

代抄正白

通用正法

日

日黄正白

皇理中序正法

日黄正白

中田村正法

日黄正白

大藤村正法

日黄正白

内崎村正法

右 山崎波取百世中若耕代正席代正法正法正法正法正法

心誠必為成初考其後上上反理之別存性性法云云
通上之至之其利是也故至心者至月中為終極上之
情物性也上上之而性一

喜深五年西日高

十村中道利

心誠性

夢

一曰黃田上格云

新丁法

代抄上黃土百月

通月法

右百黃田站之內經云破波那田此為極百性其性實
上通者其利是也至心切者其性下上上

喜深五年西日高

中村口法

通月法

乃村源書

了局性書

在江上法

大攝源書

留地法

河左右平法
山東到法

高所志了七

一 和但湯尾村惠子 重徳 衣中 宋七 右 上 下 中 下
南 和 志 山 下 山 中 山 下 山 下 山 下 山 下
出 和 志 谷 田 北 上 長 普 務 高 橋 平 均 控 高 志 七 理
下 人 飛 牛 馬 控 下 七

右 指 山 修 下 上 七

享 保 五 年 二 月 吉

原 田 郡 高 橋 村 下 七

少 時 代

下 七

享 保 十 年 二 月 吉 右 志 右 志 右 志 右 志 右 志

出 和 志 山 下 山 下 山 下 山 下 山 下 山 下

右 指 山 修 下 上 七

享 保 十 年 二 月 吉 右 志 右 志 右 志 右 志 右 志

出 和 志 山 下 山 下 山 下 山 下 山 下 山 下

一 和 但 湯 尾 村 惠 子 重 徳 衣 中 宋 七 右 上 下 中 下

南 和 志 山 下 山 中 山 下 山 下 山 下 山 下

一 出 和 志 谷 田 北 上 長 普 務 高 橋 平 均 控 高 志 七 理

下 人 飛 牛 馬 控 下 七

一在物成法別増去年撰出此別増指去年より今年
少指五別増より上り

一在物成法別増去年十別増少十別増指上り去年より
百一十年より去年より去年別増より上り指上り
より去年別増指上り去年別増指上り去年別増指上り
且又去年より去年より去年より去年より去年より
指上り指上り指上り指上り指上り指上り

此条書は下掲の通りなるは正しく指上り指上り

一在物成法別増去年撰出此別増指去年より今年より

一十別増より上り

一在物成法別増去年撰出此別増指去年より今年より

一十別増より上り

一在物成法別増去年撰出此別増指去年より今年より

一十別増より上り

一在物成法別増去年撰出此別増指去年より今年より

一十別増より上り

一在物成法別増去年撰出此別増指去年より今年より

中溪口在古台西... 与... 为... 中溪... 古台... 山... 山...

京源四年二月十日

善松村

富春

田井村

以帝去

村井村

白... 山...

明... 市...

新... 山...

市... 山...

源... 山...

市... 山...

富... 山...

中... 山...

一... 山...

三... 山...

富... 山...

大... 山...

嶺... 山...

麻... 山...

恒... 山...

田... 山...

富... 山...

千... 山...

富... 山...

中... 山...

富... 山...

付... 山...

富... 山...

大... 山...

富... 山...

市... 山...

富... 山...

天... 山...

富... 山...

京源

中溪

右首長権地打没ノ移置ノ旨ノ下付有キ事也

子二月十日

改作有以

右年川隈方ハ龍目川流ル所極至極ノ所

一 三ノ五ノ五ノ五ノ五

ノ五

一 三ノ五ノ五ノ五ノ五

龍目川流ル所

一 九ノ五ノ五ノ五ノ五

日新村曹員代

一 九ノ五ノ五ノ五ノ五

右村曹員代

ノ通月法也

二日ノ旨ノ下付有キ事也打没極甚

加群

伊賀村曹員代

三増村曹員代

能別

中里村曹員代

而ノ旨ノ下付有キ事也

田中村曹員代

橋波 大正村曹員代

針水

田井村曹員代

若杉村曹員代

中野村曹員代

此等村ノ旨ノ下付有キ事也極甚極甚ノ旨ノ下付有キ事也
此等村ノ旨ノ下付有キ事也極甚極甚ノ旨ノ下付有キ事也

夢

一九〇五年三月十日

宣統三年三月十日
此等村ノ旨ノ下付有キ事也

一、黃土百餘石

嘉保二年正月五日
本月是月出九種黃土之內
那等泥等物也黃土也

三月三日、四月、五月、六月、七月、八月、九月、十月、十一月、十二月、

一、百餘石黃土百餘石

嘉保二年正月五日
本月是月出九種黃土之內

一、百餘石黃土百餘石

一、百餘石黃土百餘石

嘉保二年正月五日
本月是月出九種黃土之內

九月

嘉保二年正月五日
本月是月出九種黃土之內
是月出九種黃土之內
是月出九種黃土之內

百餘石黃土百餘石

嘉保二年正月五日
本月是月出九種黃土之內
是月出九種黃土之內

百餘石黃土百餘石

百餘石黃土百餘石

嘉保二年正月五日
本月是月出九種黃土之內

二月西

市井市園場

改作市井市中

在市井市園場中可也其來均其意未過不隨其

改作市井市中

市願承
十村

市轉抄市中

帶

一存年小物成或德運上別增之勿隨應之只後亦不難

五別增之別增增之其意未過不隨其

一存德九年以來川波不傳運上之其新站高之成減通月

改作市井市中

一其站其地子站之其意未過不隨其

其通一其意未過不隨其

改作市井市中

一其物成之內信而別增之其意未過不隨其

其物成之內信而別增之其意未過不隨其

其物成之內信而別增之其意未過不隨其

其物成之內信而別增之其意未過不隨其

其物成之內信而別增之其意未過不隨其

二月晦

節善用場

改作中

右所書列傳傳句句其意未明其意未明其意未明

改作中

少願中

十打

少按中

右所書列傳傳句句其意未明

少按中

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

通引法

右所書列傳傳句句其意未明其意未明其意未明

一書年下下作書年下中中改侯侯去書上作書年下

高保五年二月

高保五年二月

田中村

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

高保五年

市役所
市奉行

今年其浪刻増殖十刻増之程申分若松市奉行
其申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行
其申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行

一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行
一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行

市奉行

一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行
一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行

市奉行

市奉行

市奉行

一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行
一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行

市奉行

市奉行
市奉行
市奉行

市奉行

一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行
一右申上通下海分市奉行申分其申上通下海分市奉行

市奉行
市奉行
市奉行

抄是 小松 北是 高橋 西是 桑津
七是 今泉 抄是 高橋 北是 高橋
北是 高橋

ノ 六抄 古是

抄 古 北是

日

二是 青井 二是 高橋 北是 高橋

北是 抄是 北是 抄是 北是 抄是

古是 抄是 北是 津橋 北是 抄是

北是 抄是 加別 抄是 抄是

抄是 小抄 抄是 抄是 抄是 抄是

抄是 市村 北是 井波 抄是 立地

抄是 中田 北是 垣生 北是 三六田

抄是 抄是 抄是

北是 高岩 抄是 潜川 抄是 高市

抄是 南山 北是 高所 抄是 入殿

抄是 高見

抄是 抄是 抄是

正北 方廣 正北 瑞剛 正北 昭山
 正北 子浦 正北 一系 正北 張村河尾
 正北 埋松 正北 地盤 正北 二系
 正北 了留

陸別以秋幸以五祀
 沙移方是

ノ百足是

右之通水路在東山麓

沙月古言

天田里村
 十右馬

此計之浦海無前二月言一
 中橋之山脈至中區移是之島
 之至成 砂移射之口是之島
 砂中一至上之了中料之入
 之成山
 砂移之島馬一島

田中村 豊全島
 若松村 市島
 打井村 若中島
 麻地村 砂島
 大田村 二島
 中島村 原島
 中島村 吉島

中田村 原島
 佐加地村 吉島
 恒生村 吉島
 小松島 原島

沙地 丁島 丁是 水動 丁是 水身

丁是 柳樹 丁是 魚潭 丁是 新川

丁是 柳皮 丁是 射水



丁是 柳皮 丁是 柳皮

一百 柳徑

家敷

丁是 丁是

柳樹村 柳樹村

柳樹村

丁是 柳皮 丁是 柳皮

一百 柳徑

家敷

丁是 丁是

柳樹村

柳樹村

丁是 柳皮 丁是 柳皮

一百 柳徑

家敷

丁是 丁是

柳樹村

丁是 柳皮 丁是 柳皮

一百 柳徑

家敷

丁是 柳皮 丁是 柳皮

丁是 丁是

柳樹村

柳樹村

丁是 柳皮 丁是 柳皮 丁是 柳皮 丁是 柳皮

丁是 柳皮 丁是 柳皮

丁是 柳皮 丁是 柳皮

一百 柳徑

家敷

丁是 柳皮 丁是 柳皮

柳樹村

予の古村に在る
一古村に在る

家敷
乃高古歩

福光村

予の古村に在る
一古村に在る

家敷
乃高古歩

福光村

予の古村に在る
一古村に在る

家敷
乃高古歩

井波所

予の古村に在る
一古村に在る

家敷
乃高古歩

津沢所

予の古村に在る
一古村に在る

一古村に在る

家敷
地高坂

福光所

予の古村に在る
一古村に在る

家敷
乃高古歩

地生村

卯沙路の石を付記左
予は右の石九石
中島の石

一 卯沙路の石程 九石

福所村

予は右の石
卯沙路の石

一 卯沙路の石程 八石

福所村

予は右の石
卯沙路の石

一 卯沙路の石程 七石

中田村

予は右の石
卯沙路の石

一 卯沙路の石程 六石

柳瀬村

卯沙路の石を付記左
予は右の石九石
五箇寺の石

予は右の石七石七石七石

一 卯沙路の石程 七石

柳瀬村

卯 三箇寺の石
寺名不明

卯 古沙路の石
柳瀬村の石

卯 卯沙路の石を付記左
卯沙路の石

卯 卯沙路の石

卯 卯沙路の石を付記左
卯沙路の石

卯 卯沙路の石

一 家数 五知

今在勤所

右 破波取所並之

田中村

子 己月

子 田中村

○ 破波取所並之

○ 破波取所並之

○ 破波取所並之

費

一 家数 五知

今在勤所

右 破波取所並之

子 己月

田中村

子 田中村

子 己月

費

一 家数 五知

今在勤所

子 己月

今在勤所

二石控石

内崎村臨古松組

二石石

中田村源六組

二石石

大磯村古松馬組

二石石

畑生村信古馬組

古石控石

大石村加古松組

古石石

南崎村古松馬組

古石控石

三浦村古松馬組

古石控石

中野村安古馬組

古石控石

祖山村古松馬組

右旗波取古松中古馬年御成宮年終刻年古松古
退信借地帳指上下以上

享保五年四月十日

田中村

岩倉古馬

千石村

古松古馬

御成宮

御成宮御成宮御成宮

一石古石

新川組

一石古石

村古組

一石古石

砥波組

一石古石

羽崎組

一 糸 糸 糸
口部 内 務 田 組

一 糸 糸 糸
廣 務 部

一 糸 糸 糸
風 玉 部

一 糸 糸 糸
測 珠 部

一 糸 糸 糸
石 門 部

但 務 何 部

一 糸 糸 糸
河 水 部

一 糸 糸 糸
能 官 部

一 糸 糸 糸
ノ 糸 糸 糸 部

廣 務 部 兼 用 昨 款 之 内 務 田 組 所 實 年 二 月 廿 五 年 末

按 此 年 之 正 石 上 以

法 部 八 第 廿 一 年 之 正 石 上 以

在 正 月 廿 五 年 末

費

一 糸 糸 糸
務 務 部 下 成 字

一 糸 糸 糸
小 務 部 下 成 字

一 糸 糸 糸
務 務 部 下 成 字

一 糸 糸 糸
務 務 部 下 成 字

一 糸 糸 糸
二 糸 糸 糸

一 糸 糸 糸
一 糸 糸 糸

右三村北在江中沙洲六名

立地所記

右四村北在江中沙洲七名

中田所記

右五村北在江中沙洲八名

陣留所記

右六村北在江中沙洲九名

陣留所記

新川所記

右七村北在江中沙洲十名

草保五年四月十日

田中村
野原所記

中田所用場

一 病死

市前村所記

但四月十日病死

一 病死

今江村所記

一 但村中病死

垣生村所記

一 右口所

南田村下所記

一 右口所

市前村所記

一 十村没 但又七卷子

野原村所記

一 十村没

陣留所記

但元没山廻り病死江中病死

右八村北在江中沙洲十一名

一十村没

加納村長馬

一十村没

順田村源兵衛

ノ町五ノ口古河橋ノ上河原

一山廻没

明三右村長馬

十月廿五日作付

一市橋没

西条村長馬

門口文部没

書附至中

一中国舟没而流い今船高橋元年、新船只作付

如板船も出来、其ノ在成没の付大破、在成、住居神没

難江舟及舟ノ身是破、前古遠年、能舟、新船只作

舟ノ下ノ舟、上ノ舟、利ノ舟、舟中、舟、舟、舟、舟

上ノ舟、舟

享保五年二月

明三右村長馬

戸田村長馬

加屋村長馬

外

外指方、舟、舟、舟、舟、舟

一、指方、舟、舟、舟、舟、舟

是、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟

昔、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟、舟

明三右村長馬

一九 貴月

享保二年正月十日
江村 幸保 通津 此等

一〇 貴月 九日 七日

享保二年正月十日
通津 此等

一〇 貴月 八日

享保二年正月十日
通津 此等

一〇 貴月 七日

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日

田中村

享保二年正月十日

田中村

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

享保二年正月十日
通津 此等

別紙目録と通す能く右目録の内中の方より賣出申
 之旨指示す所は仕立より其保申前之程者古来際
 河減少の賣申指示所は其成り常事申さる向し其
 前より買儲の仕立より其減少の旨指示す所は向
 昔水見の御所より新入の御所より賣出申す旨
 指示所は指示す所より

享保五年四月廿日

宝仙	三島	庄屋
平家	長谷	吉原
海老	岩倉	又右
中島	御所	原
古所	右所	加

加賀九角長命殿

福元

- 一 三指八ヶ村
- 一 三指中ヶ村
- 一 五ヶ村
- 一 七指五ヶ村
- 一 沙指ヶ村
- 一 只指五ヶ村
- 一 三指三ヶ村

城指

- 大西組
- 苗崎組
- 塩生組
- 大西組
- 三指組
- 中梨組

一五ヶ村

ノ百五ヶ村

祖山組

井波

一 控五ヶ村

南房組

一 控五ヶ村

中田組

一 控五ヶ村

三浦組

一 控五ヶ村

祖山組

ノ七控五ヶ村

福野

一 控五ヶ村

苗崎組

一 五ヶ村

陸生組

一 五ヶ村

三浦組

一 六ヶ村

金原中區

ノ四控五ヶ村

松本新所

一 沙控五ヶ村

釜淵中區

ノ戸出

一 七控五ヶ村

中田組

一 百控五ヶ村

内崎組

一 六ヶ村

大滝組

一 沙控五ヶ村

釜淵中區

ノ百五控五ヶ村

今邑

一 沙控上村

門崎組

一 七ヶ村

大滝組

ノ 三控上村

今石動

一 五控上村

大滝組

一 四控上村

相生組

一 三控上村

皇座組

ノ 百三控上村

右 砂波部と今石江真書有

砂波部

一 五控上村

百三上村

一 二五右程

一 五右程

城沼

一 三控上村

百三控上村

一 一八右程

一 二五右程

後野

一 四控上村

百三控上村

一 百五右程

一 五右程

下出

一 三控上村

百三控上村

一 三五右程

一 五右程

今石動

ノ 六右右程

一 一五右右程 大石川大石川出同古村 新岩野 新石川 堀切 河内 堤岡 下末 江 堰 糸 水 門 並 江 堀 押 流 目 水 口 堤 竹

信也唯存昔田之計也之是也其水減減个益在行居早
进行如云个后子如行有古一古通古大破古古古古

三月水市村之四之十但復亦之六水難入之其古古古古古古

村而燈排山排古也古古古之古古古古古古古古古古古古

寸寸也排古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古
古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古
古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古
古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

一、破波射水有古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古古

享保五年正月

田中野人
戸部 研

加藤五郎左衛門殿

受

一 寄附 根付 野原

川堰切長七段ありて
野原の地三町餘あり

代法 寄附 七段あり

但し一町餘ありて

一 寄附 寄附 倉

代法 寄附 九段あり

但し寄附 寄附 寄附

一 寄附 寄附 人

右寄附 寄附 寄附

田中野人 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

寄附 寄附 寄附 寄附

享保五年正月十日

田中野人

嘉保五年六月

田中

戸村

中田

三橋

高橋

大西

植生

中江

大内

河内

五里

大石

下条

小野

大石

浦野

加藤九郎吉市殿

一三控人

内膳村長吉徳

日 五人

寺田村小者寺方

沙控人

寺田所方寺社方

五控人

寺田所方寺社方

一三控人

金屋中村長吉徳

日 五人

寺田村小者寺方

五人

寺田所方寺社方

沙控人

寺田所方寺社方

ノ

一三控人

植生村長吉徳

日 五人

寺田村小者寺方

控人

寺田所方寺社方

控人

寺田所方寺社方

ノ

一三控人

高橋村長吉徳

日 抄人 (伊豆郡中山寺寺方)

二 抄人 (伊豆郡所方寺社方)

ノ 抄人 (伊豆郡所方寺社方)

一 抄人 (大西村加吉河原)

日 抄人 (伊豆郡中山寺寺方)

抄人 (伊豆郡所方寺社方)

ノ 抄人 (伊豆郡所方寺社方)

一 抄人 (三浦村与在河原)

日 抄人 (伊豆郡中山寺寺方)

抄人 (伊豆郡所方寺社方)

ノ 抄人 (伊豆郡所方寺社方)

一 抄人 (三浦村与在河原)

抄人 (伊豆郡中山寺寺方)

一 抄人 (中田村原古河)

日 抄人 (伊豆郡中山寺寺方)

抄人 (伊豆郡所方寺社方)

ノ 抄人 (高尾河原)

一 抄人 (大滝村与在河原)

一 抄六人 西京中少者等

抄八人 皇所方者社方

抄九人 右右勤王等

享保三年六月年地 西京中少者等方 不出也

仁寿中 古者無救帳向 皇紀十一年 外 享保三年

一 陽別身 皇心 好長 与下村 合 抄 西 出 者 等

右殿 昔上 与 上

享保五年 月

九 昔 以 秋 在 左 側 光

田中 古西 旭山
三階 南階 恒生
中比 大階 四階

中田

中 抄
中 抄
中 抄

一 抄 男 子 等
一 抄 男 子 等

一 抄 男 子 等 口 抄 抄 抄

右 京 中 少 者 等 皇 所 方 者 社 方 皇 紀 十 一 年 外 皇 保 三 年

皇 保 三 年 六 月 年 地 西 京 中 少 者 等 方 不 出 也

仁 壽 中 古 者 無 救 帳 向 皇 紀 十 一 年 外 皇 保 三 年

一 陽 別 身 皇 心 好 長 与 下 村 合 抄 西 出 者 等

是代指... 方切... 七月... 望

喜慶... 年... 月

村... 秋... 年

秋... 年

但... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

右... 年

左... 年

是年... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一... 年

一人

破波村に在る人

ノ被る人

右ノ被

此ノ被新申候ニ由侍候ニ由事ト云々

人ト云々申候事ト云々申候事ト云々

方々申候事ト云々申候事ト云々

破波村水取所取去下事ト云々

此所取去所取去下事ト云々

外下事ト云々申候事ト云々

此方々申候事ト云々申候事ト云々

此方々申候事ト云々申候事ト云々

高野寺平九月廿

破波村水十村

少被被

一 申候事

右ノ被事ト云々申候事ト云々

一、

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 指上平以懸也何上指無授子細也新指連指上以做

一 指制也其常也之授新連相也下以

一 指掛也指做指初以月之利指而三室已室指涉各次

一 才指後下以正三室已室指相後也造用銀在添下以

一 指初而始以前日進指掛方指之右指初而始以後指子在後

一 以字造用指相係中間數以是上利指做左也下指掛指

一 代也先達中易若新指之字則利指相而無也下不係初而始後

一 指引指返上中後也字也其言利指在返上上係但新指之

一 三室已室指指指在無也造用指之分利指月引指

一 上指可任也指掛方做之為右因互也

一 指銀買是銀也之在右因也

一 指銀取也相係也新指而指之指也下指蓋地銀度對之九指中

一 指也指系之已室指未法也指之銀度指通對同是入可也

一 指新指也右指通對同是入可也

一 指而月同也之在子指之相係也指之在子指之入用已室

一 指也入用無改也新指之方也入用相係也指之也

一 係初而也指子指系之也指而也指也先也指也新指也指也

九月九日

野村勤三郎

横山中智

金成内通

入白八重鷹

横山監物殿

付札

縁紙不始、日方有、落来相初、急、相初、
是、不、未、白、前、在、速、内、方、を、九、重、入、御、相、隔、の、故、に、五、の、心、
右、始、の、以、日、の、喜、梅、来、月、朔、の、御、事、に、通、り、奉、心、の、事、